

平成28年6月21日

評価専門調査会事務局

## 文部科学省に追加の説明及び追加の資料提出を求める事項 (第1回評価検討会での質疑及びその後の委員からの要請)

### 1. 将来ビジョン(日本が目指す産業・社会の姿)の明確化

開発戦略や研究内容を決定する上での基本方針となる将来ビジョンについて、何のための人工知能か、どんなことをする人工知能か、人工知能を使ってどんな産業・社会を実現するのかを、プロジェクトの実施内容に照らし合わせる形で、明確にしていきたい。

### 2. 開発戦略、実施内容等の妥当性

#### (1) 研究開発の全体像(開発戦略)の策定

AIPプロジェクトの研究開発スケジュールや短中長期の目標を、ターゲットとする産業・社会的課題とともに説明いただきたい。まだ決まっていなければ、いつ決まるのか。

掛け声だけで研究の軸が見えない。「世界をリードする革新的技術」とはどこが革新的なのか。「欧米とは違うアプローチ」とはどんなアプローチを考えているか。センター長として特に何がしたいのかを示してほしい。

人工知能技術全体を俯瞰したうえで、国内外の研究動向はどうなっているかを示してほしい。それに対し、我が国の強み・弱みをどう考え、AIPプロジェクトでは何に取り組むのか、センター長の意見を伺いたい。

#### (2) プラットフォームの明確化

プロジェクト名称にもなっている「プラットフォーム」とは何か。事前評価時には、プラットフォーム構築が主要研究項目の1つになっていたが、その姿はいまだ示されていない。何が成果物になるのか。

第5期基本計画やCSTIのシステム基盤技術検討会で示されたプラットフォームと、AIPプロジェクトで構築するプラットフォームの関係を示してほしい。

### **(3) 効果的な研究開発テーマの選定**

センター長が着眼している「高精度・低コストの学習」について、具体的なアイデアはあるのか。当該分野の海外・民間の研究動向はどうなっているのか。

社会実装には製品に対する説明責任が問われるなか、説明困難な学習技術に対する説明責任をどのように構築しようと考えているのか。

### **(4) 人材活用及び人材育成について**

戦略的創造研究推進事業の検討状況(研究テーマの選定等)はどうなっているか。

海外人材も含めた人材活用及び人材育成の方針や規模を示していただきたい。

## **3. 研究開発マネジメントの妥当性**

### **(1) AIPセンターにおける運営体制の整備**

センター長に与えられている”大きな”権限と責任について、具体的に示してほしい。また、それを果たすために、センター長をどのようにサポートするのか。

### **(2) 産業界と密に協働するための方策の具体化**

解決すべき課題や目標の設定にあたり、産業界のニーズや要請を取り込む方策をどう考えているか。

産業連携会議における検討状況を説明いただきたい。

### **(3) 実効的な3省連携の具体化**

人工知能技術戦略会議や研究連携会議、産業連携会議の役割や権限はどうなっているか。例えば、研究テーマの重複や不足分は誰が見つけ、誰が3省の相乗効果を図るように全体最適を図るのか。研究開発戦略等に対する責任は誰がとるのか。

これまでの人工知能技術戦略会議や研究連携会議、産業連携会議ではどのような議論があったのかを具体的に教えてほしい。

理研AIPセンターと産総研AIセンターの拠点集約化の見通しはどうなっているか。